

# 第71回 惣菜のわかる八百屋塾レポート 2019年2月26日（火曜日）



今回の司会は、馬司工場製造社員の大久保さん。172名、社員を含めると約200名の参加者のなかで、かつよく司会を勤めてくれました。

2019年度 第1回目の惣菜のわかる八百屋塾は、「食品ロス」をテーマに開催。第1部では、わらべや日洋ホールディングス株式会社 会長 妹川 英俊氏にご登壇いただきました。第2部では、妹川氏、生活協同組合コープこうべ企画政策部 環境推進 統括 益尾 大祐氏、Foodbiz-net.com代表 道畑 富美氏、弊社代表 黒田を交えてパネルディスカッションを行いました。食品業界にとりまして、「食品ロス」は、真剣に取り組まなければならないテーマです。

スケジュール		
12:30~12:45	開会の挨拶	フルックスグループ 代表 黒田 久一
12:45~13:45	基調講演	わらべや日洋ホールディングス株式会社 会長 妹川 英俊氏
13:45~14:00	休憩	
14:00~15:50	パネルディスカッション	
14:00~14:15	講演	Foodbiz-net.com 代表 道畑 富美氏 (モデレーター)
14:15~14:40	講演	生活協同組合コープこうべ 企画政策部 環境推進 統括 益尾 大祐氏 (パネラー)
14:40~14:50	報告	フルックスグループ 代表 黒田 久一
14:50~15:50	ディスカッション	
15:50~15:55	閉会の挨拶	フルックスグループ 副代表 杉林 昭
15:55~16:00	懇親会準備	
16:00~	立食懇親会スタート	



## わらべや日洋ホールディングス株式会社 会長 妹川氏ご講演

- ・わらべや日洋グループの紹介 ・コンビニエンス業界について
  - ・日本の人口・世帯数の推移、食料支出の推移
  - ・中食市場について ・食品ロスの推移
  - ・日本の食品ロス (H27・可食部合計) は646万トン
  - ・廃棄を選択する理由、そしてそのための対応策
  - ・食品ロス削減の取組み
- 646万トンの食品ロスは、世界の食糧援助量よりも多いという話で締めくくられました

## 生活協同組合コープこうべ 企画政策部 環境推進 統括 益尾氏ご講演

- ・生活協同組合コープこうべについて
- ・コープこうべの環境・SDGsの取組み
- ・コープこうべの「食品ロス削減」の取組み
- ・食品ロス削減の取組みの経緯
- ・フードバンク、フードドライブの取組み
- ・「てまどり」について
- ・食品残渣による堆肥化、バイオマス発電



## Foodbiz-net.com代表 道畑氏ご講演

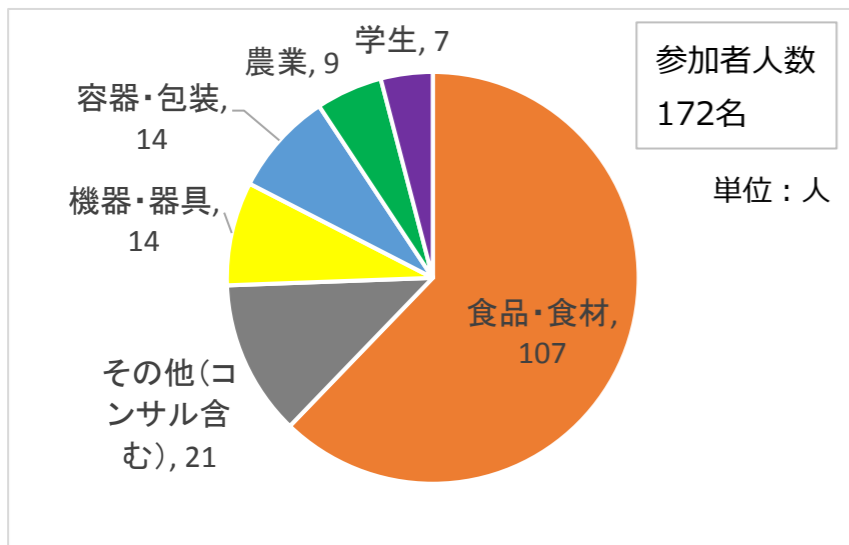
- ・食品ロスのとらえ方の変化
- ・食品ロスの原因
- ・フードチェーンの情報共有の課題



## パネルディスカッション

妹川氏はコンビニエンス、益尾氏はメーカー・小売店、弊社黒田はメーカー・八百屋です。それぞれの立ち位置で、食品ロスがでる現状と課題、食品ロスへの取組みについて本音を交えたディスカッションを行いました。消費者とコミュニケーションをとることや、誰のために商品を作っているのかを考えるなど、参加者も一緒に考えながら、ディスカッションは進んでいきました。

食品ロスは、たいへん重いテーマでありながら、今後の食糧事情を考えると避けては通れないテーマでもあります。今回の八百屋塾が、食品ロスに取り組む新たなきっかけになればと考えています。(事務局)



商品の展示



今回は、2019年第1回目の開催ということもあり、立食懇親会でした。オードブル、お寿司のほか、たくさんのお料理で参加者の皆様をおもてなしました。

最後になりましたが、この場を的確に仕切っていただきましたモデレーターの道畑先生 ありがとうございます。

## 惣菜のわかる八百屋塾 事務局より

いつもご参加いただきましてありがとうございます。今回の八百屋塾では、2020春卒学生対象の1dayインターンシップを、当日に開催いたしました。講演の中では、企業・従業員・消費者の意識の変革がなければ、食品ロスは削減できないという示唆がありました。今回の八百屋塾に参加してくれた学生の皆様がどこかで、今回のことを思い出し、食品ロスについて考えてくれたらと期待しています。経営企画室 村山



フルックス自慢の冷凍天ぷら



おでんもありました

